

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 12 号  
2 0 1 3 年 9 月 2 4 日

東海旅客鉄道株式会社  
新幹線鉄道事業本部関西支社  
支社長 河原崎 宏之 殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部  
執行委員長 小林 國博

「大阪交番検査車両における職場諸要求」に関する申し入れ

表題について、下記の通り申し入れるので、早急に労使協議の場を設定し改善すること。

記

職場環境について

1. 大阪交番検査車両所でこの夏社員が熱中症になり、救急車で運ばれるという事態が発生した。今後の対策をどのように考えているのか明らかにすること。
2. 大阪交番検査車両所の検修庫内の、スポットクーラーの老朽化が進み冷風が弱く効果が見られないので、強力な新しいものに交換すること。
3. 大阪交番検査車両所の検修庫のB通路に設置してある扇風機が古く故障箇所を直しながら使っているため、新品に交換すること。
4. 特に新入社員への制服の貸与数が少なく、作業で汚れもひどいため制服貸与数を増やすこと。

業務関係について

1. 車両係のB担務登用は就業規則48条に定める「職制」に反するのでやめること。
2. 交番検査前に発生している故障等は、読み出し・調査等を交番検査の時間帯で行わず、専門性の高い修繕車両所で対処すること。
3. チェックシートの枚数やサインする箇所が多すぎるため、チェック漏れ等を目的としブラッシュアップ・簡素化すること。
4. 担務の配置は隔たりがないように、全ての社員がそれぞれの担務の、全てのパートを経験できるようにすること。
5. 10月1日からG・X編成で行っている交番検査方法に検査方法を統一し交検施工を行うとしているが、何故、変更するのか明らかにすること。
6. C編成の交番検査方法をG・X編成で行うことで作業工程時分が210分から200分に短縮されているが、10分短縮した理由を明らかにすること。
7. G・X編成で行っている交番検査法では、Z・C編成で行っている交番検査方法の一部を省略しているが問題はないのか、明らかにすること。

8. G・X編成で行っている交番検査方法で交検を行うことで、関連会社では慌ただしく準備に追われている。労災防止の観点から元に戻すこと。
9. 連続換気装置吸気口寸法調整で、会社は「車内のお客様に快適にお過ごしていただくために圧力を適正に保っていくことを目的に行っている」としているが、実際に車内圧が高く側引き戸が重いときがあるが問題はないのか、明らかにすること。
10. 「作業確認の指差喚呼」については数が多すぎて、どういう文言で「喚呼」するかを気にとられて本来業務がおろそかになる。よって「指差喚呼」を簡素化すること。
11. SEKに業務委託している「MTrフィルター清掃」時に庫内にホコリが充満することがある。社員の健康等への影響が懸念されるため、実態を調査して集塵機の改善など対策を講じること。

#### 勤務について

1. 年休抽選で1番になっても毎月25日の勤務発表時に休日・年休が確定していない事が多々発生している。何故、確定しないのか明らかにすること。
2. B担務の予備者数が少ないため、年休の取得が出来づらい状況が続いている。B担務を担当している社員の年休の取得数を増やすため予備者数を増やすこと。
3. A・B・C各担務の予備者の基準数を明らかにすること。
4. 「出張・研修等」については年休枠と別に要員を確保すること。
5. 今後、年休抽選で1番になった社員については、勤務発表時には休日確定とすること。
6. 10月と11月の3連休のど真ん中（日曜日）に出勤を予定しているがその理由を明らかにすること。また、日曜日の出勤をやめること。

以上